

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

藍住東学校
「学力向上実行プラン」

- 主体的に学び、確かな学力を身につける児童の育成
- 言語活動を充実させた対話的な授業の実践

【各校の取組状況の把握について】

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

計画的な授業研究会や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

(1)知識・技能の習得

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|--|--|---|---------|----------|-------------|
| ○課題に対して真面目に取り組むことができる児童が多い。 ●学習規律が定着していない児童がいる。 ●学力の個人差が大きい。 | ・学習規律が定着している。 ・基礎学力が向上している。 ・身につけた知識や技能を、他の学習や生活場面で活用することができる。 | ・学習規律を視覚的に提示し、声かけを継続する。 ・スモールステップで学習を進める。 ・「ドリルタイム」を活用し、学習を積み重ねる。 ・既習の知識や技能を生かせる場面を設定する。 | | | |

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|--|---|---------|----------|-------------|
| ○ペアやグループ学習では、自分の考えを話すことができる。 ●自分の考えを、大勢の前で積極的に伝えようとする児童が少ない。 | ・自分の考えや思いを積極的に発表することができる。 ・自分の考えを根拠と共に示し、相手に伝わるよう表現できる。 | ・ペア学習など、「話す・書く」場面を多く設定する。 ・話形や文型などの基本の型を示す。 ・聞く態度を指導し、児童が安心して発表できる学級の雰囲気づくりをする。 | | | |

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

| 児童生徒の状況(○よさ・●課題) | 具体的目標(目指す子供の姿) | 具体的方策(教員の取組) | 中間期の見直し | 達成状況(評価) | 次年度における改善事項 |
|---|--|---|---------|----------|-------------|
| ○家庭学習の習慣が身についている。 ●課題に粘り強く取り組むことが難しい児童がいる。 ●自ら課題を見つけ、解決しようと計画を立て、実践できる児童が少ない。 | ・難しい課題に対しても、前向きに粘り強く取り組むことができる。 ・学習状況をふり返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、実践することができる。 | ・学習課題や学習方法の例や選択肢を示す。 ・難しい課題は、ヒントを出したり繰り返したりする。 ・学習の「めあて」を提示し、視覚化・焦点化を図る。 ・児童が自分の考えを書いたり、学習状況をふり返ったりできるよう、ノート指導を徹底する。 | | | |

令和5年度 学力向上ロードマップ

